



# ぶどう特報 #3



2022年4月28日  
JA 中野市園芸課  
JA 中野市ぶどう部会

露地の発芽期は平年並みの状況です。展葉期前半は黒とう病・晩腐病の初期密度抑制のための重要防除となります。ついでには、生育状況をこまめに確認して定期防除は適期に実施してください。

年度	巨峰発芽	シャイン発芽	巨峰開花	シャイン開花	特記
平年	4/26	4/30	6/5	6/10	過去10年平均値 (H24~R3)
2021年 (R3)	4/24	4/27	6/8	6/14	生育停滞により開花平年並
<b>2022年 (R4)</b>	<b>4/25</b>	<b>4/29</b>	<b>6/3頃</b>	<b>6/8頃</b>	<b>発芽平年並み</b>

\*観測地点：平岡ぶどうセンター周辺。発芽程度は樹勢や南北差により差がある状況。

## 【5月初旬の特別散布 \*対象：巨峰・ナガノパープル等】

散布時期	展葉3~4枚目頃 *生育状況を確認して散布	散布日：5月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ml キノンドー顆粒水和剤 100g (45日前・4回)	散布量： _____ リットル
散布量	300ℓ/10a	
適用病害虫	べと病、黒とう病	
注意事項	散布時は汚れが目立つためハウス施設や住宅等への飛散に注意する。	

## 【5月上中旬の定期散布 \*対象：シャインマスカット・クイーンルージュ®等】

散布時期	展葉2~3枚目頃 *生育状況を確認して散布	散布日：5月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ml ⑧ カナメフロアブル 25 ml (前日・3回) *注意事項①参照	散布量： _____ リットル
散布量	300ℓ/10a	
適用病害虫	黒とう病、褐斑病	
注意事項	<p>① 【重要】黒とう病多発園の場合は、カナメフロアブルに代えて<u>トレノックスフロアブル 1,000倍 (60日前、2回)</u>を使用する。尚、カナメフロアブルは第10回の定期散布へ混用する。</p> <p>② カイガラムシ類対策：⑧ ダイアジノン水和剤 34の1,000倍 (30日前、2回) を加用する。</p> <p>③ 散布適期：園内の3割程度が右写真の状態に到達した頃 ⇒</p>	



## 【5月中下旬の定期散布 \*共通】 今回の防除から10日間隔の防除を進める

散布時期	展葉6枚目頃 (5月中下旬) *生育状況を確認して散布	散布日：5月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ml トランスフォームフロアブル 50 ml (14日前、3回) オーソサイド水和剤 80 125 g (30日前、3回) ※グリーンデイズ 等 100 g (※葉面散布剤 詳しくは裏面)	散布量： _____ リットル
散布量	300ℓ/10a	
適用病害虫	黒とう病、べと病、灰色かび病、晩腐病、カイガラムシ類	
注意事項	展葉2~3枚を散布した場合は前回から約10日後の散布を目安とする。	

~裏面もお読みください~ 葉面散布資材使用例・短梢栽培の芽かきポイント等記載

参考：ぶどう用葉面散布資材 \*使用時期目安：展葉 6 枚～落花直後まで

◆ 農薬混用：可

◆ 注意：落花 17~20 日から袋かけ直前まではブルーム溶脱の恐れがあるため混用しない。(袋かけ後の散布は可能)

★4 月 28 日配布の通知に葉面散布剤の注文書があります。注文されていない方は是非ご利用下さい。

資材名	倍率	使用目的	規格
グリーンデイズ	1000	◎オススメ 葉色向上・ゴマ塩果対策・花ぶるい防止 等	1 kg
オルガミン	1000	◎オススメ 葉の厚み・受光体制向上・食味向上 等	1L・5L・10L・20L
ビックマグ	1000	葉色向上	1 kg

★昨年度の市内土壌分析結果から『マンガン不足』の園地が非常に多く確認されました。

『グリーンデイズ』は不足気味のマンガン・ホウ素を補給でき、さらに苦土による葉色向上が期待できます。

◆ 短梢栽培の芽かきについて

1. 目的

- ◆ 1 樹全体の新梢の生育を揃える⇒今後の管理（特にジベ処理）の際に生育が揃うようにする
- ◆ 貯蔵養分を効率よく新梢に流す
- ◆ 花穂の有り無し、房型等を見極める

2. 時期

- ◆ 発芽後～展葉初期（5 月上旬頃）
- ◆ 展葉 3～5 枚目頃（5 月中下旬頃）
- ◆ 誘引時

3. ポイント

- ◆ 生育状況(枝ぶり・花穂の有無など)を確認しながら適宜実施する
- ◆ 1 芽座に 1 新梢を目安とする
- ◆ 芽座および新梢の間隔：15～20 cm
- ◆ できるだけ主枝に近い芽を残すことを意識して実施する



↑ シャインマスカット短梢栽培展葉 5～6 枚目

◆ 苗木・若木の管理について

① かん水

たっぷりとかん水する。好天日が続く場合はかん水の頻度を増やす。根域の土壌を乾燥させない。敷きワラ等を実施する（連休明け以降に実施）

② 芽かき

伸長のよい新梢を 2 本程度残し必要のない芽は欠く。\*1 本は予備の枝とする。

③ 誘引

残した新梢が真っすぐに健全に伸長するよう欠損しないように、適宜に新梢を支柱に誘引する。新梢の伸長程度により複数回に分けて実施する。伸長状況等の生育の観察はこまめに行う。

特報 #4 予定：5 月 16 日発行 展葉 9 枚目頃、6 月上旬の定期散布等記載予定